

## <川根本町地域包括支援センター／静岡県立川根高等学校 様>

上映日:2018/11/10(土) 場所:静岡県立川根高等学校(静岡県榛原郡川根本町)



### 映画という共通ツールで高校生とお年寄りが話し合い、お互いを考え合う機会に

●上映会を開催するに至った経緯を教えてください。

高齢者と高校生が認知症や高齢化について話し合う機会を作りたかったものの、ただ一同に会しても何から話していいかわからないという課題がありました。今回、映画という共通するツールがお互いのことを考えたり「もっと理解したい。」という気持ちにつながったりしていただければと思い開催させていただきました。

●実行委員会は、どのようなメンバーでしょうか？

川根高校生や川根高校の職員の方に加え、町直営の地域包括支援センター職員、町職員、川根本町社会福祉協議会の職員の方にも協力をお願いしました。

●協力の得られた団体はありましたか？

日ごろよりお世話になっている川根本町社会福祉協議会の方には事前準備、当日の機材の提供等の協力をお願いしました。また、参加をお願いした町民の方には他の方にもお声掛けをお願いし、多くの方の参加をいただきました。

●資金はどのように捻出しましたか？

地域支援事業の一環として実施しました。より多くの方に参加していただきたかったため、無料招待にて実施しました。

●地域へどのように告知をしましたか？

地域包括支援センターの職員が関わっているサロンや認知症カフェで宣伝を行いました。また、希望される方は一般や介護事業所関係の方分け隔てなく参加していただけるように開催の宣伝を行いました。

●上映会当日の様子や、上映会開催の感想を教えてください。

上映前は、ぎこちなさも目立つ高校生でしたが、上映後の感想を話し合うグループワークではお年寄りの中に入っていく、意見交換を行っていました。参加した高校生の1人は「年老いていくことは大変、お年寄りの気持ちに寄り添ってみんなでいい町にしていきたい。」と話していました。

実際の介護事業所の方も参加されており、主人公の介護に対する姿勢に感銘を受けていました。職員に見せたいという声が多数寄せられました。

●地域の方々と繋がったエピソードがあれば教えてください。

当日の役割は高校生が中心になって行いました。受付や司会だけでなく、お年寄りの誘導にも携わっていました。会場には認知症の本人の方も参加されており、高校生からは「年をとること」や「認知症」についてより身近な課題として感じた。映画を見て涙を流している沢山のお年寄りがいて、何とか力になりたいと思った。」という声をいただきました。

●今後、上映会を開催される主催者の皆さんに向けて、メッセージをお願いします。

とても良い映画です。今回は、高校生とお年寄りをつなぐ共通のツールとして活用させていただきました。終了後、感想を話し合うグループワークでは大変盛り上がることができました。

ご担当者：  
池本 祐子さん

川根本町地域包括支援センター  
町直営の地域包括支援センター、  
町内の全域で支援を行っている。  
川根高校、県立高校、生徒の全国  
募集を行っている。